

令和5年10月31日

有志の会

代表 山本 敬晃

子育て支援先進地視察研修

視察期日： R5.10.17 (火) ～ R5.10.18 (水)

視察先：岡山県奈義町
兵庫県尼崎市

参加者： 議員 山本 敬晃



会派「有志の会」 視察所見

議員名【 山本 敬晃 】

- ◆視察日：令和5年10月17日（火）
- ◆視察先：岡山県奈義町
- ◆調査項目：少子化対策について

岡山県奈義町は地域で子育て支援に取り組まれており、令和元年の合計特殊出生率は2.95%まで上昇している自治体である。全国各地から視察が絶えず、受け入れは火曜日のみとのこと。

今回も私たち以外に5つの団体、議会の委員会視察等があり、対応いただいた会議室は満員で、質問される方も多く、熱気に包まれていた。町長から施策についての説明があり、奈義町存続のため「人口減少」を最大の課題とし、定住促進のため、「子育て支援施策」、「住宅施策」、「魅力ある教育」、「就労の場の確保施策」に取組み、現在の人口を維持することを目指しているとのことであり、参考にすべきことが多々あった。

過疎の町は最後に高齢者が出て行ってしまったため、そうなる前に若者支援に力を入れることが重要であり、若者支援は高齢者のためにもやるべきであるという考え方のもと、政策を実施しているとのことであった。そのことを端的に表現したのが「少子化対策は最大の高齢者福祉」という言葉であり、町長の一貫した信念が感じられた。

私たちの住み暮らす八代市も同じく人口減少という大きな課題に直面している。本市においても、奈義町の「少子化対策は最大の高齢者福祉」という考え方のもと、高齢者福祉を充実させるためにも、若者支援にこれまで以上に取り組んでいく必要がある。奈義町では平成24年4月1日に「奈義町子育て応援宣言」を行っているので、本市としてもこれからの方向性を示すためにも同様の宣言をすべきであると思う。

会派「有志の会」 視察所見

議員名【 山本 敬晃 】

- ◆視察日：令和5年10月18日（水）
- ◆視察先：兵庫県尼崎市
- ◆調査項目：子育て支援について

兵庫県尼崎市の「あまがさき・ひと咲きプラザ」は平成27年に廃止された聖トマス大学の跡地の譲渡（一部購入）を受け、市民の学びや育ちを総合的に支える拠点として整備されたものである。子どもから大人まですべての市民が生涯にわたって、学び、育つことのできる総合拠点であり、市長部局だけでなく、教育委員会、兵庫県、民間、看護学校など多様な担い手の連携を一つの場所では実現している拠点である。ひと咲きプラザには県、市などの複数の機関が配置されているため、その相互の連携、調整を図るため、子ども政策を担当する理事を配置し、その全体の調整を実施している。

ひと咲きプラザ内には「尼崎市子どもの育ち支援センター いくしあ」がある。「いくしあ」は児童虐待や不登校、発達障害など、日々の暮らしのなかで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、支えるための総合施設である。主に悩みや心配ごとのある子どもや子育て家庭を対象とした総合相談窓口としつつも、身近な子育て相談も含め、幅広い相談に対応し、専門の相談員が相談者のニーズを聞き取り、一緒に考え情報提供や助言、解決イメージを共有する。また、一人ひとりの子どもの支援歴等の記録を一元的に把握する電子システムにより、迅速かつ適切な支援につなげるようになっている。このように尼崎市では、予防に力点を置いたこども青少年施策を実施しており、課題が深刻化したり、重大事案に至る前に予防的な取組を講じており、本市でも参考になる取組である。